HAIGE

エンジンヘッジトリマ

取扱説明書

HG-TMHT1230A
HG-TMHT1230B

もくじ

はじめに	2
安全にお使いいただくために	3
安全ラベル	7
主要諸元	8
各部の名称	9
運転前の点検	10
運転操作の仕方	12
点検整備の仕方	18
長期間使用しないとき	20
故障と思ったら	21
お客様ご相談窓口	22

はじめに

このたびはエンジンヘッジトリマをお買いあげいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

●表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
●すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。

⚠ 警告	⚠ 注意
誤った取扱をしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。	誤った取扱をしたときに、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。

取扱においてその行為を禁止します。

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

エンジンヘッジトリマに係る安全事項

⚠ 警告

・燃料の臭いがする場合、運転しないで下さい。 爆発の危険があります。

・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。

・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。

・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

・燃料を給油した場所でエンジンを始動させないでください。 3m以上離れた場所で始動してください。

・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。

・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。

・エンジンの運転中や運転停止直後はエンジン本体やマフラー部が熱くなっていますので、手・身 体などを触れないで下さい。火傷をする恐れがあります。

・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。 また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。

・指定された用途以外には使用しないでください。

・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。

・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。

・操作のしかたがよく分からない成年者の独自の使用はご遠慮ください。

・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。

・運転中に回転部及び可動部(出力軸・フ ライホイール・フ ァンベルト・プ ーリー等) に手や足及び衣類を 絶対に近づけないで下さい。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。

・周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をして下さい。

安全にお使いいただくために

エンジンヘッジトリマに係る安全事項

⚠ 警告

・自動車の室内やトランクにエンジンを載せたまま車両を放置しないで下さい 。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
・自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じて下さい。振動等により燃料が漏れることがあります。
・給油は、必ずエンジンを停止し十分冷えた後に行ってください。又、付近にタバコ等の火気の無いことを確認して下さい。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
・給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとって下さい。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分して下さい。
・燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えて下さい。衣服へ引火する危険があります。
・給油は、換気の良い所で行って下さい 。燃料蒸気が蓄積し火災の恐れがあります。
・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行って下さい。静電気火花によって引火の恐れがあります。
・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにして下さい。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
・燃料タンクキヤツプは確実に締めて下さい。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
・運転前に燃料漏れがないか点検・確認して下さい。火災の恐れがあります。
・点火源となるような機器の近くに保管しないで下さい 。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
・運転中に高圧コードや点火プラグキヤツプに触れないで下さい。感電する恐れがあります。
・使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。

安全にお使いいただくために

エンジンヘッジトリマに係る安全事項

⚠ 警告

・点検整備を行なう場合はエンジンを停止して下さい。思わぬ事故につながる恐れがあります。
・点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにして下さい。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
・ガソリンエンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキヤツプを外して下さい。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
・点検整備はエンジンが冷えてから行って下さい，エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、火傷の恐れがあります。
・しっかり本体を保持してください。
・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
・始動前点検を実施してください。

⚠ 注意

・燃料は潤滑油混合ガソリンを使って下さい。
・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
・部品交換は、純正部品を使用してください。
・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止のしかたを覚えてください。
・定期点検整備を行ってください。
・子供の手の届かない安全な場所に保管して下さい。

⚠ 注意

・弊社は、燃料の販売はしておりません。　必ず別途燃料をご準備ください。
・燃料タンクに、2サイクル用オイルだけを入れないでください。
・燃料タンクに4サイクル用オイル、チェーンオイルを入れないでください。

安全にお使いいただくために

エンジンヘッジトリマの作業に係る安全事項

⚠ 警告

・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
・動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。
・ご使用時は、使用者から15m内は危険です、人や動物がはいらないようにしてください。
・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
・作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
・急傾斜地では使用しないでください。

・適切な時期に休憩をとってください。
・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
・持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜きとってください。
・運搬時、格納時は刃物カバーを必ず取り付けてください。

⚠ 注意

・機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。
・エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。

・長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
・長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
・装置を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。

安全ラベル

火気を近づけないでください

HG-TMHT1230A

マフラーの周囲は高温になります。
絶対に触れないでください

・ご使用前に取扱説明書をよく読んで下さい。
・ヘルメット、防護メガネ、耳栓、手袋、すべり止めがついている安全靴等、防護具を着用してください。

火気を近づけない
でください

マフラーの周囲は高温になります。
絶対に触れないでください

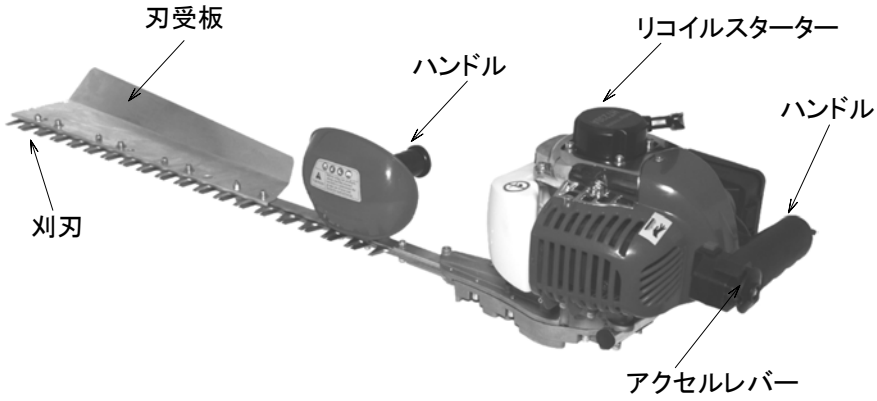
HG-TMHT1230B

主要諸元

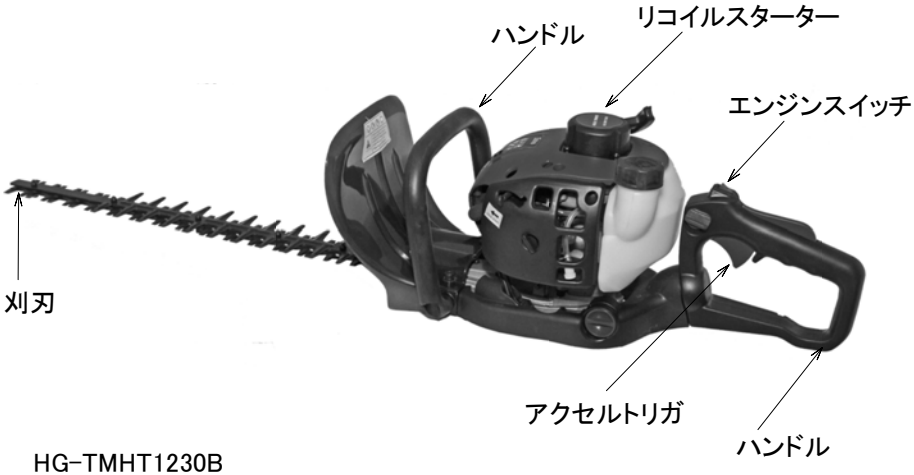
モデル名	HG-TMHT1230A	HG-TMHT1230B
型式	2サイクルエンジン	
排気量	22.5cc	
使用燃料	混合燃料 無鉛ガソリン: 2サイクル専用オイル　50:1	
起動方式	リコイルスターター方式	
刈刃長（mm）	670	560
質量（kg）	6	6

仕様は、改良などにより、記載内容と異なることがあります。

各部の名称



HG-TMHT1230A



HG-TMHT1230B

運転前の点検

●混合燃料の作り方

1.ガソリン、オイル、混合タンクを準備します。
・無鉛レギュラーガソリン
・2サイクル用オイル　JASO　FC
・混合タンク
2.混合比
50:1　　600mlの作り方例
無鉛レギュラーガソリン588.24mlに対し2サイクル用オイル　11.76ml
3.混合タンクに無鉛レギュラーガソリンを規定量(588.24ml)まで入れます。
4.2サイクル用オイルを11.76ml続けていれます。
5.混合タンクのキャップをしっかり締め、混合タンクを振り、攪拌します。

⚠ 警告

・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
・燃料をこぼさないように注意してくだい。 所定のレベルを超えて補給しないでください。
・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2サイクルエンジンオイルの混合燃料を使用してください。 ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

⚠ 注意

・燃料キャップは確実に締めてください
・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

運転前の点検

●燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。

燃料の給油

1.潤滑油混合ガソリン (50:1)を準備してください。
2.燃料キャップ面を上にして開けます。
3.潤滑油混合ガソリン (50:1)を少しづつこぼさないように給油してください。
4.給油が終わったら燃料キャップをしっかり締めてください。

HG-TMHT1230A

HG-TMHT1230B

⚠ 注意

・弊社は、燃料の販売はしておりません。　必ず別途燃料をご準備ください。
・燃料タンクに、2サイクル用オイルだけを入れないでください。
・燃料タンクに4サイクル用オイル、チェーンオイルを入れないでください。

運転操作の仕方

●エンジンのかけ方

⚠ 警告

・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
・エンジン始動と同時に刈刃が動く場合がありますので注意してください。
・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
・回転している部分の近くに顔を近づけたり、手又は足を入れないでください。

・平坦な場所で作業を行ってください。
・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
・装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
・少しの移動でもエンジンを停止して運搬してください。

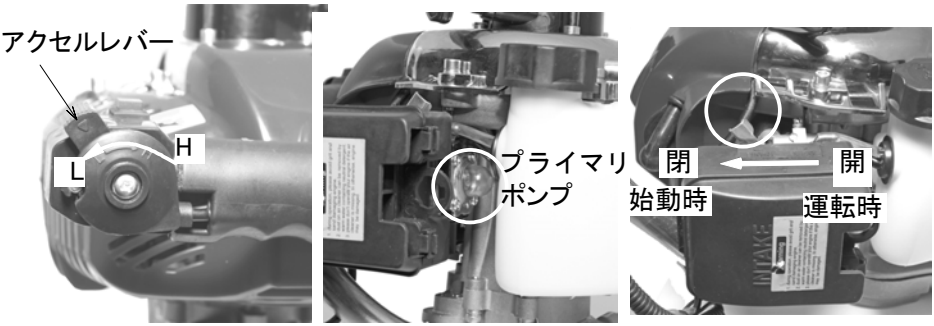
⚠ 注意

・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
・しっかり本体を保持してください。

運転操作の仕方

●エンジンのかけ方　HG-TMHT1230A

1.アクセルレバーを「L」の位置に合わせ、エンジンを低速運転の状態にします。
2.プライマリーポンプを繰り返し押します。リターンパイプに燃料が流れることを確認してください。
3.チョークレバーを始動時の位置(閉じる方向)に合わせます。
4.リコイルハンドルをエンジンがかかるまで、数回引きます。
5.暖気運転を行った後、チョークレバーを開く位置にします。
6.アクセルレバーを「H」の方向へ倒すとエンジンの回転が速くなります。



●エンジンの止め方

1.アクセルレバーを「L」の位置に合わせ、低速運転にします。
2.エンジン停止スイッチをエンジンが停止するまで押下します。

運転操作の仕方

●エンジンのかけ方　HG-TMHT1230B

1.エンジンスイッチを「ON」にします。
「ー」側：ON　「○」側：OFF

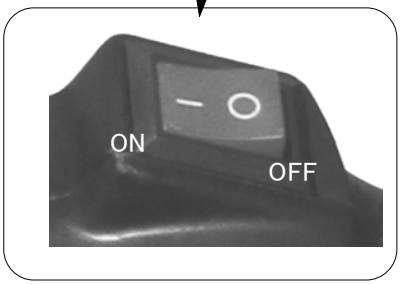
2.プライマリーポンプを繰り返し押します。リターンパイプに燃料が流れることを確認してください。

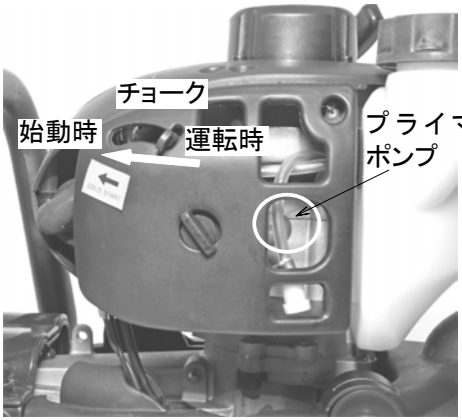
3.チョークレバーを始動時の位置(閉じる方向)に合わせます。

4.リコイルハンドルをエンジンがかかるまで、数回引きます。

5.暖気運転を行った後、チョークレバーを開く位置にします。

6.セーフティレバーを握りながらアクセルトリガを引くとエンジン回転が速くなります。





●エンジンの止め方

1.アクセルトリガより手を離し低速運転にします。

2.エンジンスイッチを「OFF」にします。

運転操作の仕方

●エンジンがかからないとき

1.点火プラグキャップを外します。
2.点火プラグを外します。
3.リコイルハンドルを数回引いて、シリンダ内を換気します。
4.点火プラグを取り付けます。
5.点火プラグキャップを取り付けます。
6.チョークレバーを開けた位置にします。
7.リコイルハンドルを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ハンドルを一度戻してから勢いよく引くとエンジンがかかります。

HG-TMHT1230A

エアクリーナーカバーを外した状態

HG-TMHT1230B

運転操作の仕方

●刈込作業の注意

作業は、「安全にお使いいただくために」を熟読の上、行ってください。

⚠ 警告

・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
・動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。
・ご使用時は、使用者から15m内は危険です、人や動物がはいらないようにしてください。
・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
・作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、刈刃に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。 太い枝が食い込んだときは必ずエンジンを停止してから取り除いてください。
・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
・髪の毛、衣服等を回転部分、摺動部分に近づけないでください。

・適切な時期に休憩をとってください。
・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
・少しの移動でもエンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、ハンドルを持って運搬してください
・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。

運転操作の仕方

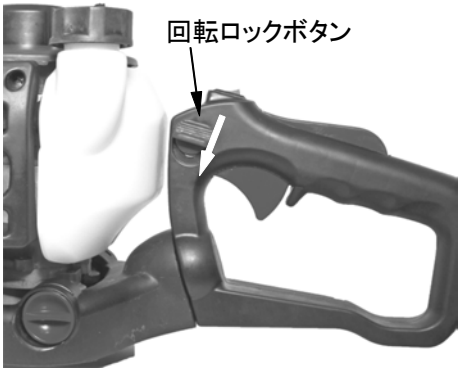
●ハンドルの操作　HG-TMHT1230B

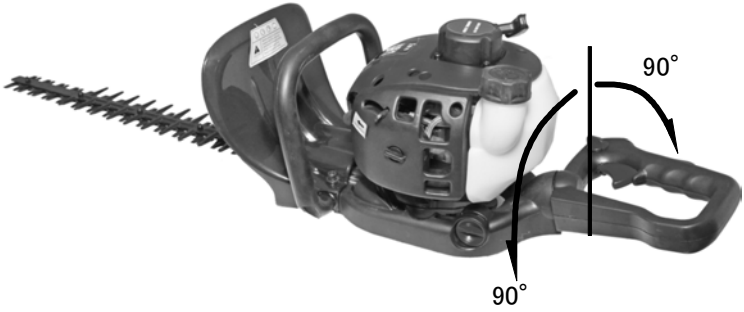
生垣を刈りこむとき、快適な姿勢で作業ができるよう、ハンドルを回転することができます。

手順

1.回転ロックボタンを押し下げ、ロックを解除します。

2.ハンドルを右または左に90°ロックされるまで、回転します。カチッという音とともにロックされます。





点検整備の仕方

⚠ 警告

・点検整備をするときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
・点検整備後は、すべての部品を確実に取り付けたことを確認してください。

⚠ 注意

・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい。
・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

●エアクリーナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどいときは新しいエアフィルタと交換してください。

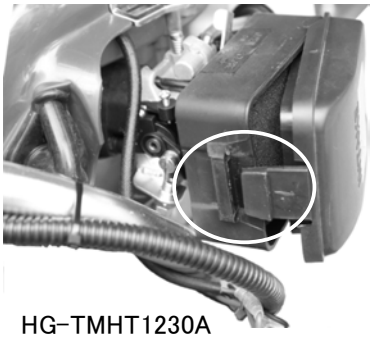
点検手順

1.エアクリーナーカバー取付けネジを緩めます。
HG-TMHT1230B

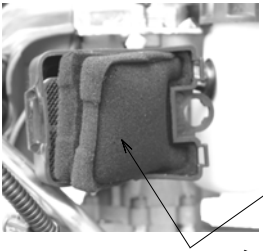
2.エアクリーナーカバーを取り外します。

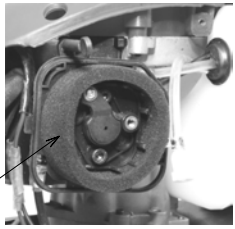
3.エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。

4.取り外しと反対の手順で取り付けてください。

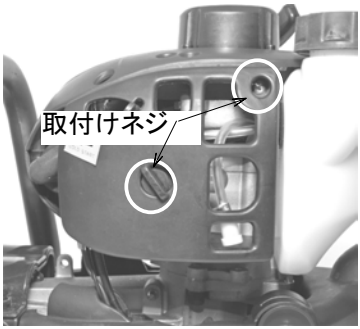


HG-TMHT1230A





エアフィルター



HG-TMHT1230B

点検整備の仕方

●点火プラグの点検

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

点検手順

1.ソケットレンチで、点火プラグを取り外します。
2.電極の周辺にオイルや堆積物が付着している場合は、清掃してください。
3.電極間隔は0.6mm～0.7mmになるように調整してください。
4.取り外しと反対の手順で取り付けてください。

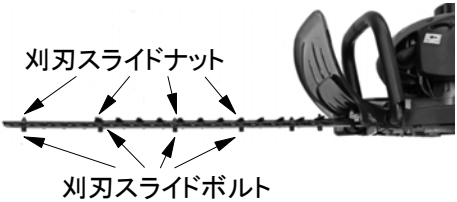
●ギヤケース

50時間使用毎にグリスを補充してください。

補充の仕方

1.グリス(シェルアルバニヤNo2又は相当品)、注入器を準備してください。
2.ギヤケース横側にあるグリスニップルからグリスを注入してください。

●刈刃の調整



刈刃の隙間があるような場合は、刈刃スライドボルトを調整してください。

調整の仕方

1.ナットを緩めてください。
2.刈刃スライドボルトを締付けた後、3/8回転戻してください。 締めすぎると刃が動かないことがあります。 また、隙間がある場合は戻し量を減らしてください。
3.ナットを締付けてください。
4.調整後、摺動部分にマシン油を給油してください。

長期間使用しないとき

●装置を2週間以上使用しないとき

1.燃料タンクから燃料を抜いてください。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1か月以内に使い切ってください。

2.エンジンをかけ、燃料切れで停止するまでまわし、キャブレター内の燃料を使い切ります。

3.エンジンスイッチをOFFにしてください。

4.点火プラグを外し、適量の2サイクルオイルをシリンダ内に入れてください。 リコイルハンドルを2～3回引いた後、ピストンが一番頂点になるところで止めます。

5.点火プラグを取り付けます。

6.点火プラグキャップは取付けないでください。

7.チョークを閉じます。

8.湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良、 ②点火プラグ不良 ③点火プラグ・キャップ接続不良 ④イグニッションコイルの不良	交換 交換 調整 交換 正しく接続
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない ②燃料ホースの詰まり、漏れ ③燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	燃料を入れる ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレータ詰まり（ニードル・バルブ膠着）	キャブレタ分解掃除

●エンジンはかかるが、すぐに停止したり、停止しそうになる

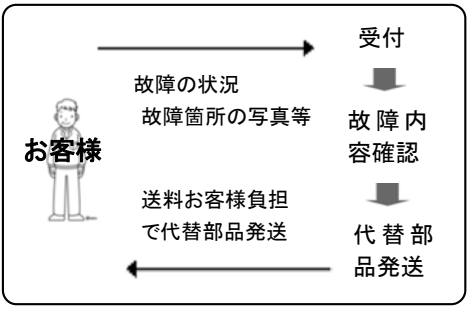
	①エアフィルタの汚れ ②キャブレタの調整不良	清掃又は交換 調整

お客様ご相談窓口

まず、「故障と思ったら」を参考に、ご自身で点検してください。

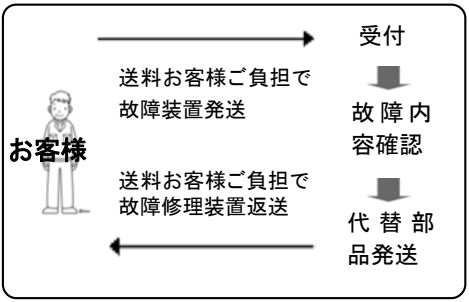
●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き壊れた部品は当社で保証します。
送料は全てお客様のご負担となります。



●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料で承ります。
その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。



修理、部品に関するご相談

修理、部品を依頼される時は
下記の事項をご連絡ください。

① 故障の状況
② 型式
③ ご購入サイト、年月日
④ お名前、ご住所、電話番号

修理　使い方などのご連絡窓口

お問い合わせ窓口
TEL　0276-55-2275
FAX　0276-55-2276
メール support@haige.jp
住所　〒370-0503　群馬県邑楽郡
千代田町赤岩3072-3

MEMO

HAIGE

ハイガー産業株式会社